

「月光のススキ」

写真というのは、写す対象に光が当たってそれが反射したものを、フィルムや CCD が感知して画像として残るものです。屋外の風景なら、たとえ曇っていても光源は太陽光です。

フラッシュを使わずに、月の光の反射だけで写真を撮ることもできます。そういうことを専門にしている写真家もいるほどです。私も挑戦してみました。



「月光のススキ」

満月で、風がまったくない晩でないと、こういう写真は撮れません。(北軽井沢)

新月の晩、人工光もまったくない場所で、恒星の明りだけで照らされている光を「夜天光(やてんこう)」といいます。いわゆる「星明り」です。私はこの「夜天光」だけでもススキや樹木の写真を撮れないかと考えています。夜天光は、全天を総計しても満月の約 1000 分の 1 しかありません。いかにも無理そうですが、試してみたい気持ちは強いです。

* 「夜天光」は、正確には「黄道光」「大気光」「星野光(せいやこう=恒星や星雲)」の総称です。

(お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋)